

栃木県立足利高等学校の新校舎整備について

令和 3 (2021) 年 6 月 11 日 教育委員会事務局総務課

1 設置計画

- (1) 概要：第二期県立高等学校再編計画に基づき、令和 4 (2022) 年度に足利高校と足利女子高校を統合共学化し開校
- (2) 新校名：栃木県立足利高等学校
- (3) 学科等：全日制・普通科、男女共学
- (4) 募集定員：6 学級 (240 人) [令和 6 年度以降の全校生徒数 720 人]
- (5) 特色：進学に重点を置く単位制を導入
〔生徒の興味・関心や進路希望に応じた多様な教科・科目を開設するとともに、個に応じたきめ細かな指導の充実に向け、学習習熟度別授業や少人数授業を実施する。〕

2 整備計画

- (1) 供用開始年月
令和 6 (2024) 年 9 月 (予定)
- (2) 整備予定地
足利市有楽町 (足利女子高校敷地及び足利市民会館敷地等) 約 40,100 m²
- (3) 整備方針 (足利高・足利女子高新校新校舎等整備基本計画 R2.3)
新校の基本的枠組みに基づき、標準的な施設を確保するほか、以下の点を踏まえて整備。
 - ① 特色ある学校づくりを推進するための施設
単位制の特色を十分に発揮できるよう、少人数学習や幅広い選択学習等が円滑に行える施設や、科目選択履修の支援などガイダンス機能の充実に必要な施設を整備。
 - ② 生徒の主体的な学習活動を支援するための施設
生徒の学習成果の発表・討論のための場や自主的・自発的な学習を促すための空間など、新学習指導要領が重視する「主体的・対話的で深い学び」を支える施設を整備。
 - ③ 快適性やユニバーサルデザインに配慮した施設
生徒の学習及び生活の場として快適な環境を確保するとともに、障害のある生徒等が利用しやすいように、ユニバーサルデザインに配慮した施設を整備。
 - ④ 安全性を備えた施設
防災性や防犯性など、十分な安全性を備えた安心感のある施設を整備。
 - ⑤ 時代の要請に柔軟に対応できる施設
将来の教育内容の変化等に対応して、空間構成の変更や設備・機器等の更新が容易に行えるような柔軟性の確保や、施設の長寿命化を考慮した施設を整備。
 - ⑥ 環境に配慮した施設
再生可能エネルギーの導入や木材利用など、環境負荷の低減に配慮した施設を整備。
 - ⑦ 景観に配慮した施設
良好な景観や町並みの形成にも配慮した施設を整備。
- (4) 施設規模等
 - ① 校地の使用区分
 - ・建物敷地及び駐車場等面積 約 18,900 m²
 - ・運動場面積 約 21,200 m²

② 建築物面積等

項目	構造	階数	延床面積	建築面積
校舎	R C造	3階	約 8,710 m ²	約 3,870 m ²
体育館、武道場	R C造一部S造	1階	約 2,890 m ²	約 3,220 m ²
運動部室棟	W造	1階	約 260 m ²	約 410 m ²
駐輪場	S造	1階	約 790 m ²	約 790 m ²
計			約 12,640 m ²	約 8,280 m ²

(5) 諸室計画【特長的な施設】

HR教室	新JIS規格(平成11(1999)年改正)の机のサイズを考慮し、従来より広い面積を有するHR教室(普通教室)を整備する。
講義室	単位制による学習習熟度別少人数授業や多様な選択科目の授業に柔軟に対応できる複数の講義室(30人程度を収容できる普通教室)を整備する。
大教室	生徒の学習成果の発表・討論の場や、科目履修ガイダンスなど学年全員に対する一斉指導の場として、移動可能な机椅子や視聴覚機器等を備えた、1学年全員(240人)が収容可能な面積を有する大教室を整備する。
自習室	生徒一人一人が主体的に活動できる自学自習の場として、自習室を整備する。
図書室	新学習指導要領が重視する探究的な学びや、生徒の自主的な学習の場として、十分な面積と機能を有する図書室を整備する。
進路関係諸室	進路相談やガイダンス指導の場、進路関係資料の保管・閲覧の場として、十分な面積と機能を有する進路指導・相談室、進路資料室を整備する。
体育館	一般的な県立高校の第一体育館及び第二体育館を一体化し、バスケットボールコート4面を配置できる面積を有するアリーナを備えた体育館を整備する。

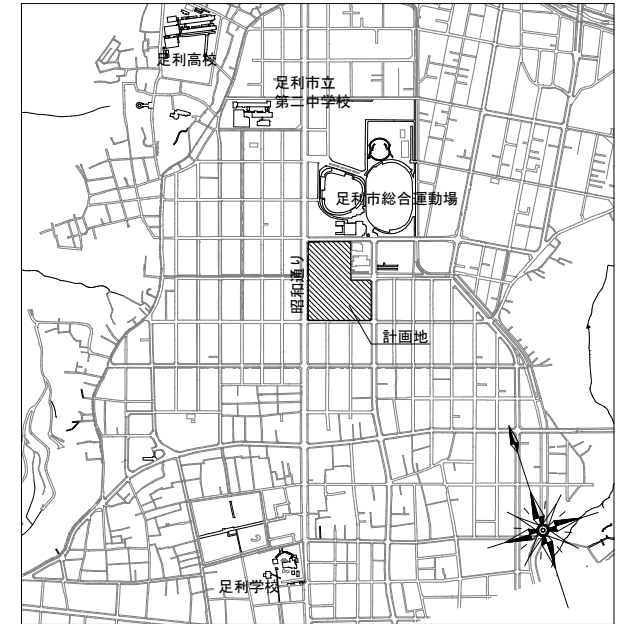
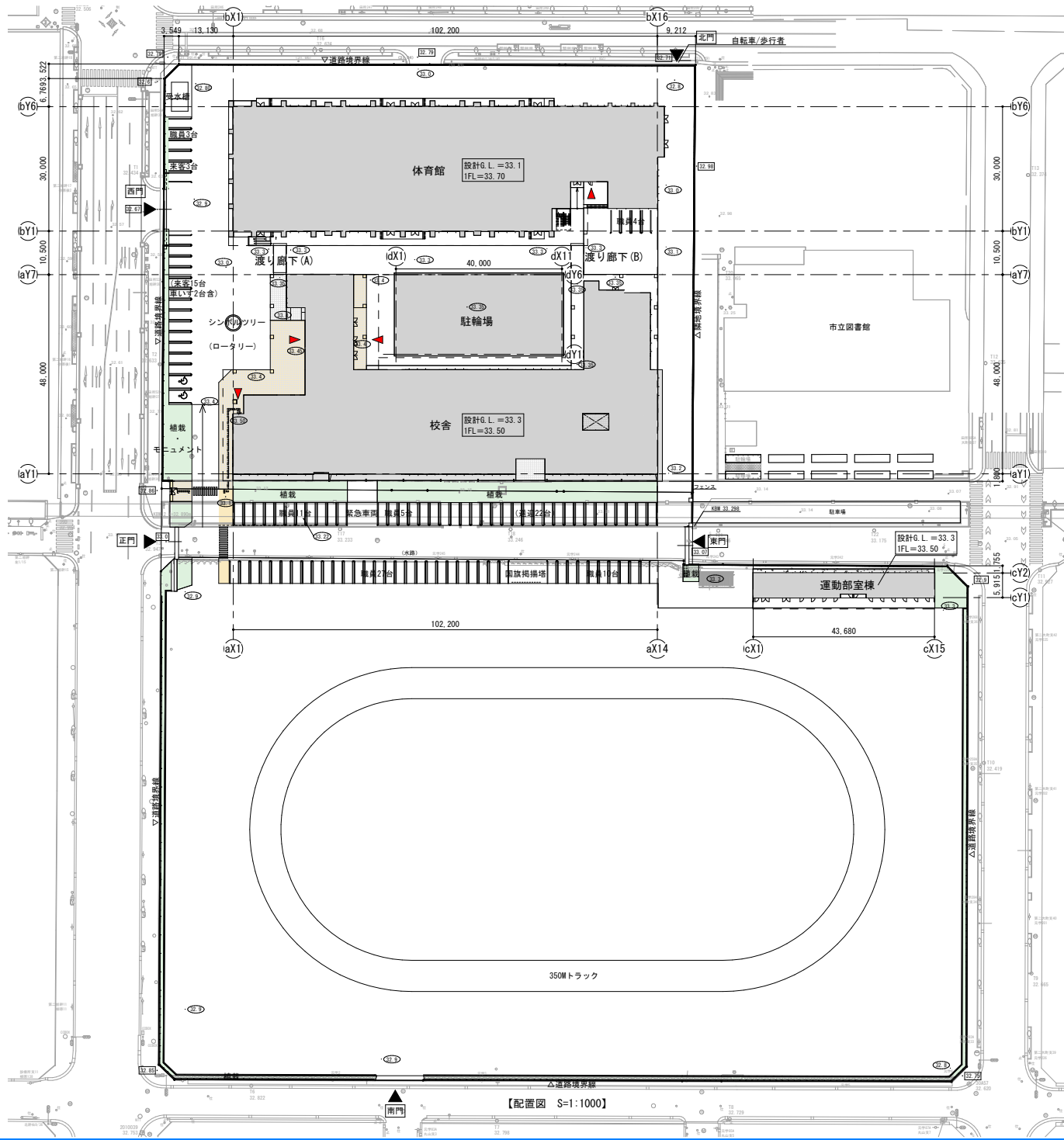
3 整備スケジュール及び概算事業費

(1) 整備スケジュール

区分	年度	令和2 (2020)	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)
仮校舎整備(現足利高校) ・校舎改修工事 ・仮設校舎賃借	設計	→	→	→		
	工事		→	→		
既存施設解体 ・足利市民会館 ・足利女子高校校舎	設計	→	→	→		
	工事		→	→		
新校舎整備 ・建築工事 ・外構工事	基本・実施設計	→	→	→		
	設計		→	→	→	→
	新校開校			→		
	賃借期間				→	→
	解体					→
	移転					→

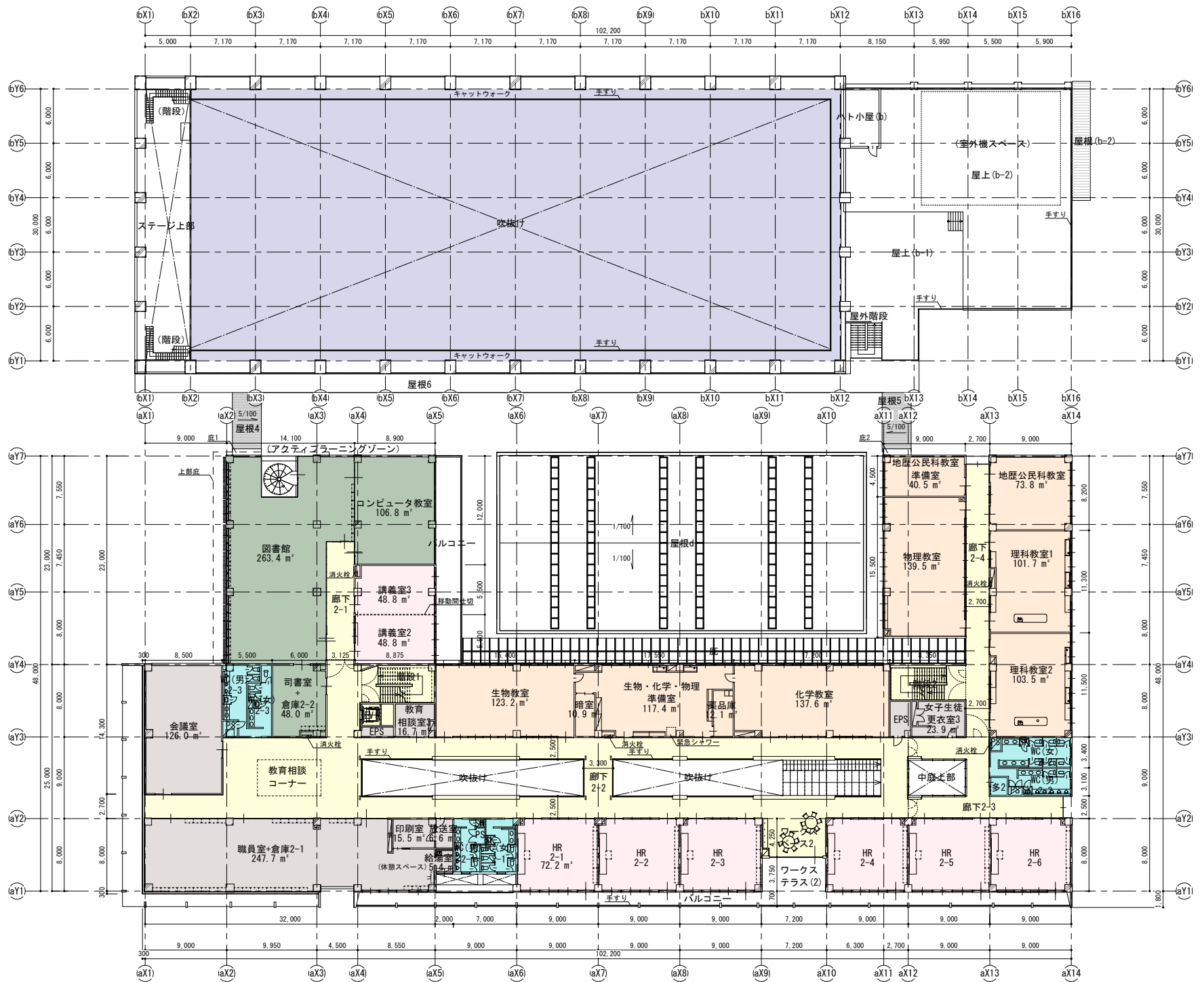
(2) 概算事業費

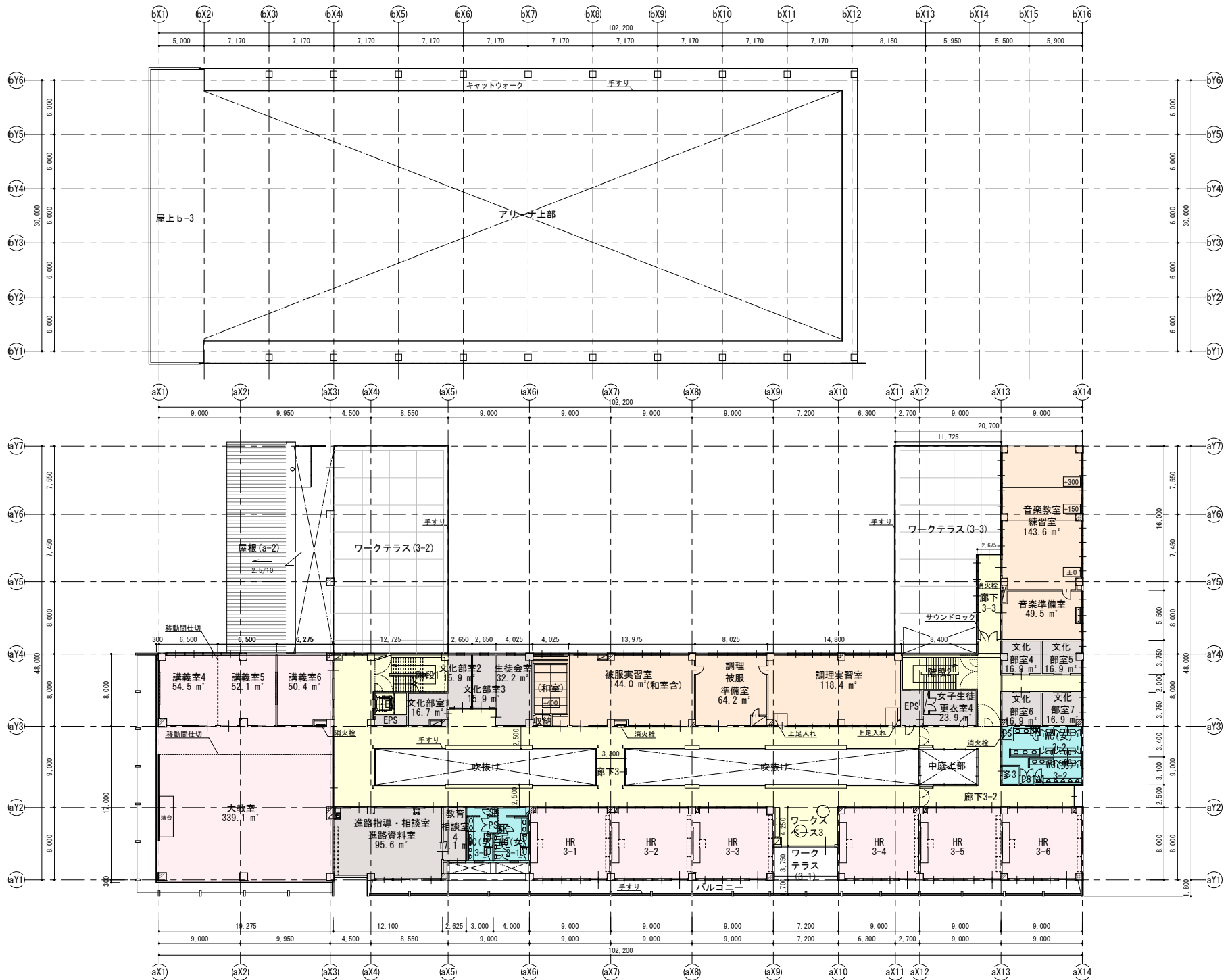
・新校舎設計費、調査費	約 3億円
・新校舎建築工事費	約 58億円
・新校舎外構工事費	約 6億円
・仮校舎整備費、備品購入費他	約 3億円
計	約 70億円 (既存施設解体費は除く)

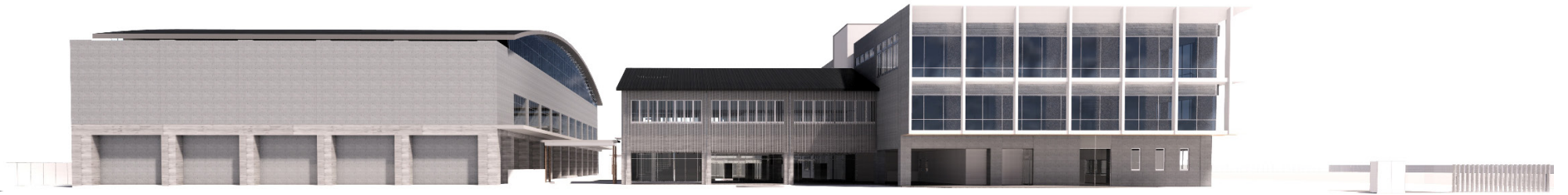


【案内図】









西側立面パース



南側立面パース



北側立面パース